

常呂川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、常呂川流域においても、タマネギ収穫量日本一である農産物や水産業・林業等の産業が盛んな地域であることから、被害軽減のための避難等の対策を含む事前防災対策を進める必要がある。国管理区間では、流域で甚大な被害が発生した平成28年8月の洪水同規模の洪水を安全に流下させ、浸水被害の軽減を図る。

■被害対象を減少させるための対策

- 嵩上げ盛土による浸水対策を講じた複合型公共施設を整備
- 防災施設の移転（浸水想定区域から消防庁舎移転）
- 多段的な浸水リスク情報を充実させたまちづくりの取組 等



嵩上げ盛土による浸水対策を講じた複合型公共施設を整備（北見市）



防災施設の移転（浸水想定区域から消防庁舎移転）（訓子府町）

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 水位計・監視カメラの設置および水害リスク空白域の解消に向けた取組
- プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化
- ハザードマップの周知および多機関連携型タイムラインの策定
- 要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と避難の実効性の確保
- 氾濫水を早期に排水するための排水計画と訓練
- 高潮浸水シミュレーション（想定最大規模）の実施・公表
- 防災気象情報の利活用促進 等

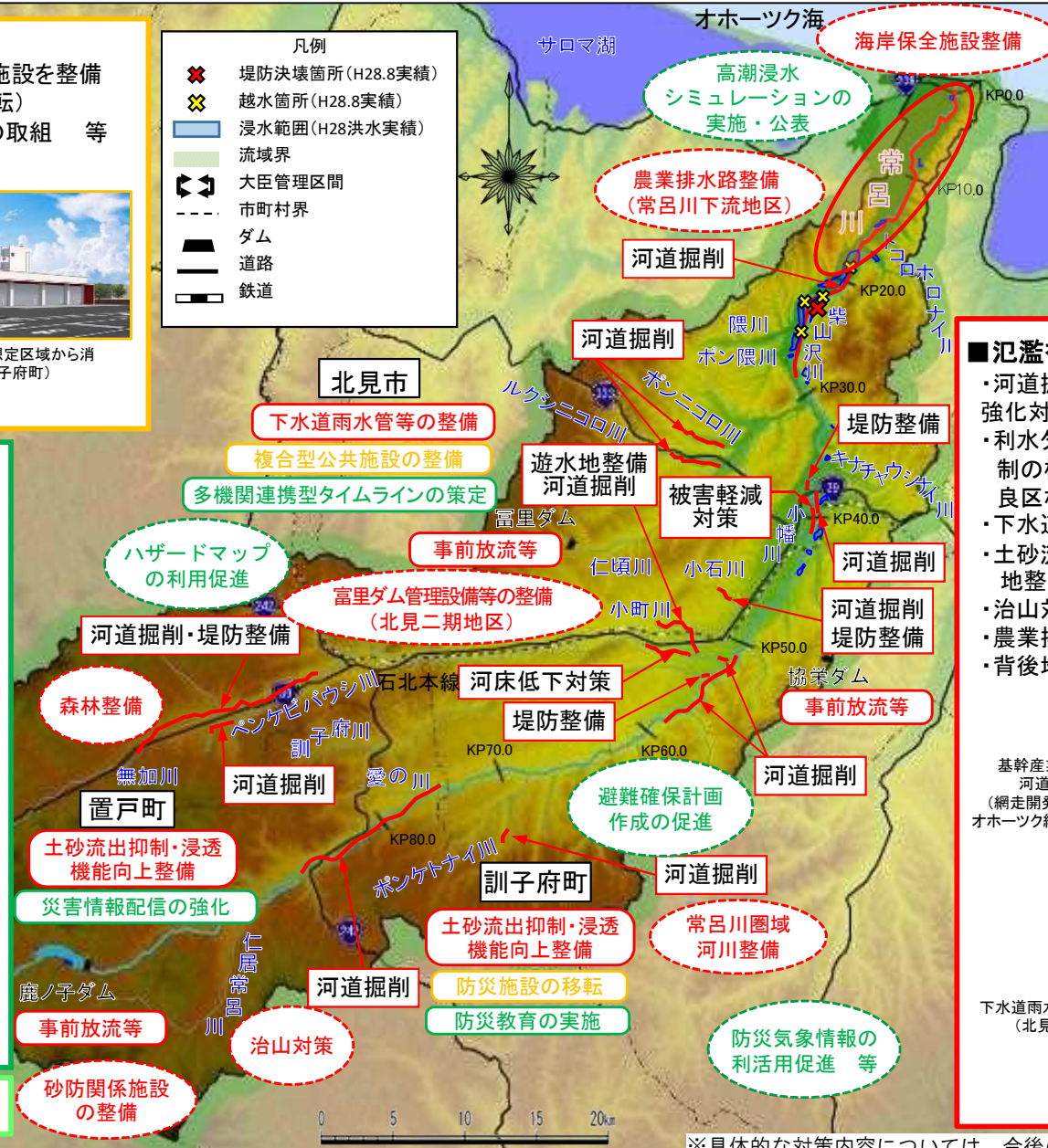


多機関連携型タイムラインの策定（北見市）



水防活動訓練の取組（訓子府町）

■グリーンインフラの取組 詳細次ページ



【位置図】

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河道掘削、堤防整備、河床低下対策、堤防強化対策、遊水地整備
- 利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施・体制の構築（関係者：国、北海道、市町、土地改良区など）
- 下水道雨水管等の整備
- 土砂流出抑制・浸透機能向上整備（森林対策・農地整備）
- 治山対策および砂防施設整備（土砂災害抑制）
- 農業排水路等整備
- 背後地の人命・資産を守る海岸保全施設整備 等



基幹産業を守る河道掘削（網走開発建設部、オホーツク総合振興局）



下水道雨水管の整備（北見市）

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

常呂川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

- 常呂川では、日本の食を支える「生産空間」を活力ある地域として守っていくため、国、道、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する
- 【短期】北見市街地等での重大災害の発生を未然に防ぎ、かつ、内水被害軽減のため、水位低下を目的とした河道掘削等を主に実施するとともに、浸水リスクの高い公共施設の移転を進め、水害リスクに強いまちづくりを実施する。
- 【中期】北見市街地の浸水被害を防ぐため事前防災を進め、河道掘削を推進し、さらに中小河川の浸水リスク情報の提供を進める。
- 【中長期】狭窄部の上流域の浸水被害軽減対策を実施し、流域全体の安全度向上を図りつつ、被害軽減・早期復旧・復興のための対策を継続する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備等)	網走開発建設部		常呂地区の河道掘削完了	端野地区の河道掘削及び被害軽減対策完了
	洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備、遊水地整備等)(中流域)	オホーツク総合振興局		端野地区の堤防整備完了	北見市街地周辺の河道掘削完了 置戸地区の河道掘削完了
	北見市街地を守る河床低下対策	網走開発建設部、オホーツク総合振興局			日吉・福山地区の河道掘削完了
	生産空間を守る農業排水路等整備	網走開発建設部、オホーツク総合振興局			
	土砂流出抑制・浸透機能向上整備(森林対策、農地整備)	オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走中部森林管理署 等	常呂川下流地区完了		
	山地災害から流域を守る治山対策および砂防施設の整備	オホーツク総合振興局、網走中部森林管理署		植栽・間伐等の森林整備	
	利水ダム等3ダムにおける事前放流等の実施・体制の構築	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町 等		治山施設等の整備	
	下水道雨水管等の整備	北見市	富里ダム管理設備等の整備完了(北見二期地区)		
	背後地の人命・財産を守る海岸保全施設整備	オホーツク総合振興局			
被害対象を減少させるための対策	嵩上げ盛土による浸水対策を講じた複合型公共施設を整備	網走開発建設部、北見市		公共施設の移転整備完了	
	水害リスクに備えた災害対応施設(消防庁舎)の移転	訓子府町			
	多段的な浸水リスク情報を充実させたまちづくりの取組	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町	多段階な浸水リスクの提供(網走開発建設部)	情報の有効活用(流域全自治体)	まちづくり検討(流域全自治体)
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水位計・監視カメラの設置および水害リスク空白域の解消に向けた取組	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町			
	プッシュ型情報配信、防災無線等を活用した情報発信の強化	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町			
	講習会等によるハザードマップの周知および多機関連携型タイムライン策定	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走地方気象台		ハザードマップの空白地帯の対応(国・道)	
	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進と避難の実効性の確保	北見市、訓子府町、置戸町		要配慮者利用施設の避難確保計画策定完了(流域全自治体)	
	高潮浸水シミュレーション(想定最大規模)の実施・公表	オホーツク総合振興局			
	氾濫水を早期に排出するための排水計画と訓練	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町、網走地方気象台			
	防災気象情報の利活用促進 等	網走地方気象台			
グリーンインフラの取組	・生物の多様な生息・生育環境となっている河畔林、水際の保全 ・魚類等の移動の連続性確保 ・産卵の場の保全 ・河川景観の保全	網走開発建設部、オホーツク総合振興局			
	・小中学校や一般住民などへの環境学習 ・流域住民への森林育成に関する理解促進	網走開発建設部、オホーツク総合振興局、北見市、訓子府町、置戸町			

気候変動を踏まえ
更なる対策を推進

【事業費】

■事業規模

河川対策(約398億円)
河道掘削、堤防整備、
河床低下対策 等
砂防対策(約5億円)
対策内容
流木止め整備 等
下水道対策(約31億円)
対策内容
下水道雨水管等の整備 等
海岸対策(約26億円)

- ※1: 国・北海道の河川整備計画の残事業を記載
- ※2: 北海道における砂防事業の残事業費を記載
- ※3: 各市町における下水道事業計画の残事業費(雨水関連)を記載
- ※4: 北海道における海岸事業の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

常呂川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

○下流部の短期における河道掘削がR7完了にともない、下流部の中高頻度(1/30)の浸水が解消。

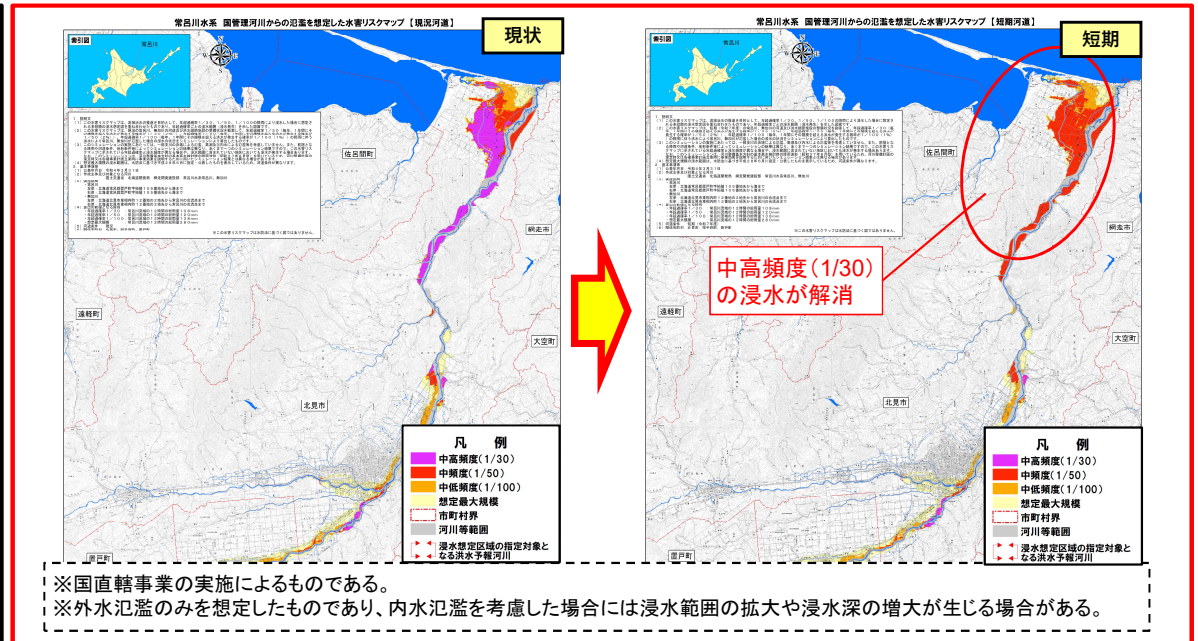
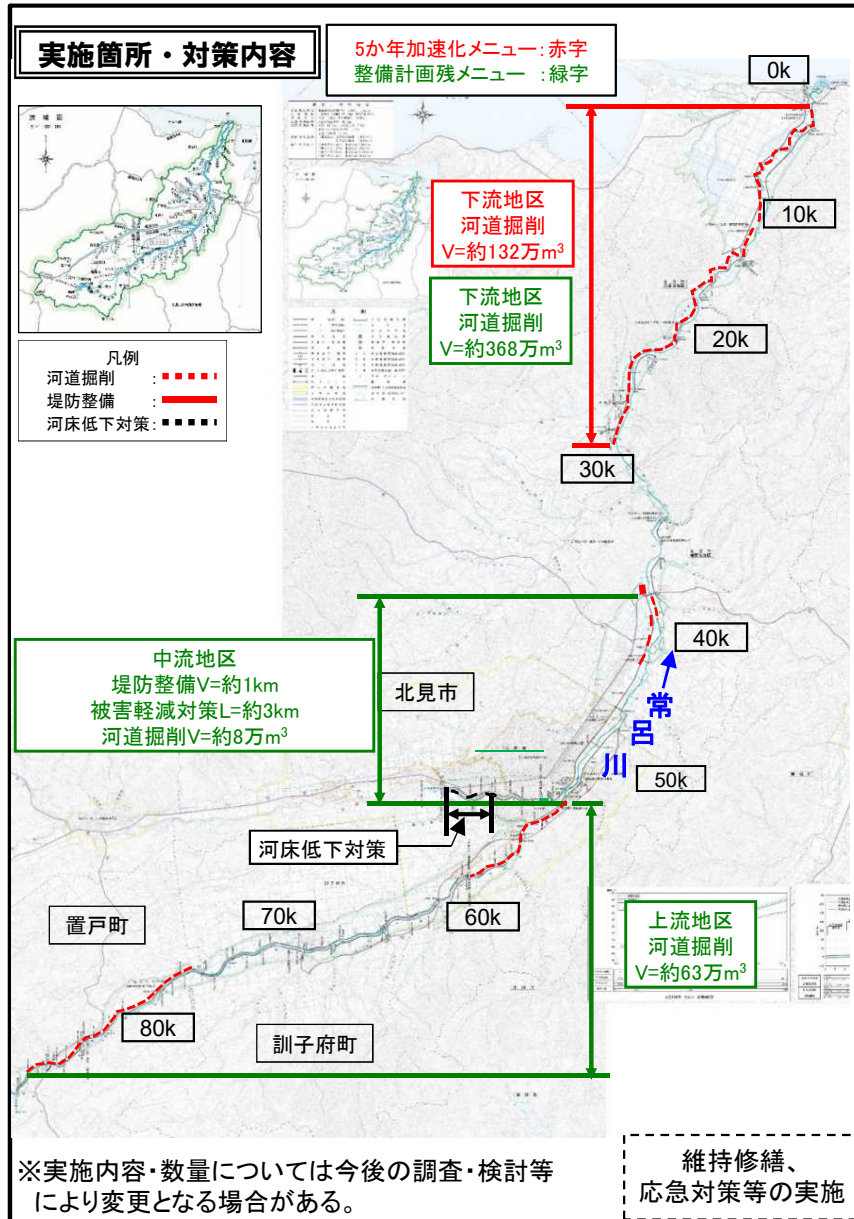
短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約56%→約57%

※整備計画改定(R3.12)前の整備計画河道に対する整備率は約92%→約99%である。

※河川整備率とは、河川整備計画において定めた河道整備流量を流すことが出来る断面を確保している国管理区間の割合

※地震津波対策として、河川構造物の耐震化、極門の自動化、遠隔操作等を調査検討中

※被害軽減対策の具体的な実施内容は検討中



整備箇所・内容		工程		
		【5か年加速化対策】 短期(R2～R7年度)	中長期(R8～R22年度)	長期(R23～R32年度)
①下流地区	河道掘削	R4 30%	50%	100%
	河道掘削			100%
②中流地区	堤防整備		100%	
	被害軽減対策			100%
③上流地区	河道掘削		80%	100%

【短期整備完了時の進捗】

①下流地区 河道掘削 30%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



北海道では全国でも特に
気候変動の影響が大きく、
更なる対策を推進

常呂川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～タマネギ収穫量日本一を支える地域の安心・安全確保に向けた治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備(見込)



整備率:99%

(概ね5か年後)

農地・農業用施設の活用



1市町村

(令和4年度末時点)

流出抑制対策の実施



1施設

(令和3年度実施分)

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 7箇所
(令和4年度実施分)
砂防関係施設の
整備数 0施設
(令和4年度完成分)
※施行中 4施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

(令和4年12月末時点)

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 53河川
(令和4年9月末時点)
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定
区域 0団体
(令和4年9月末時点)

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 198施設
土砂 4施設
(令和4年9月末時点)
個別避難計画 1市町
(令和4年1月1日時点)

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

～洪水氾濫対策(河道掘削、堤防整備、遊水地整備 等)
(中下流域)～



低水路護岸張替状況



河道掘削状況

【実施中の取組内容】

- ・常呂川における河道掘削及び護岸等整備(網走開発建設部)
- ・無加川、小石川、ルクシニコロ川、ポンニコロ川、
ポンケトナイ川における河道掘削(オホーツク総合振興局) 等

～下水雨水管等の整備～



下水道雨水管の整備状況



【実施中の取組内容】

- ・雨水管整備工事、雨水管増径改築工事の実施(北見市) 等

被害対象を減少させるための対策

～嵩上げ盛土による浸水対策を講じた
複合型公共施設を整備～



複合型公共施設の完成イメージ



複合型公共施設の盛土造成状況

【実施中の取組内容】

- ・過去の浸水被害の状況をもとに、浸水被害リスクの少ない箇所へ複合型公共施設の設置を計画
- ・常呂川河道掘削土を有効活用し基盤盛土が完了
- ・今後、浸水対策を講じた複合型公共施設整備の整備を実施(北見市)

～水害リスクに備えた災害対応施設の移転～

【取組内容】

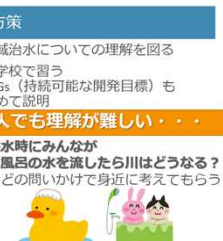
- ・災害対応施設の移転について、浸水被害リスクの少ない箇所への移転を計画
- ・消防署の浸水区域内から浸水区域外への移設建設工事の実施(訓子府町)



新消防庁舎外観

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

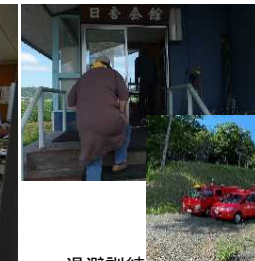
～流域小学校における、これまでの水害に関する伝承、
流域治水の意識醸成～



【実施中の取組内容】

- ・これまでの水害に関する伝承や「流域治水」に関する意識の醸成を目的に、流域小学校にて防災学習会を実施(網走開発建設部) 等

～多機関連携型タイムライン検証訓練～



住民避難訓練

退避訓練

【実施中の取組内容】

- ・令和元年に作成した「常呂川下流地区水害タイムライン試行版」を用いて、防災行動の検証訓練を実施(網走開発建設部、北見市、地域住民ほか) 等